



うりゅう

# ごんにちは 議会であ

発行／雨竜町議会 編集／議会広報特別委員会



(7/5 雨竜沼湿原のエゾカンゾウ)

No. **210**  
2022.8

- 定例会及び臨時会の審議結果…………… P2～5
- 行政常任委員会所管事務調査報告…………… P6
- 一般質問 3名の議員が質問…………… P7～11
- 中学3年生が議会傍聴……………P12
- 議員研修報告……………P13
- 北海道町村議会議長会での提起・表彰の伝達 …… P14～15

# 令和4年 第2回臨時会

(開催日程：令和4年5月27日)

## 審 議 結 果

議 件 名	結 果
専決処分した事件の承認について 「北竜町と雨竜町における自家用有償旅客運送に関する事務の委託に関する規約」 (北海道中央バス株式会社滝川北竜線の廃止に伴い、交通空白地となる北竜町境界から追分市街停留所の区間において北竜町が運行する自家用有償旅客運送に関する事務を処理できるよう規約を制定するもの)	承 認
専決処分した事件の承認について 「令和3年度雨竜町一般会計補正予算(第12号)」 (2,460万6千円を追加し、総額43億7,181万円とする)	承 認
専決処分した事件の承認について 「雨竜町税条例等の一部を改正する条例の制定について」 (地方税法等の改正に伴い、雨竜町税条例等の一部を改正するもの)	承 認
令和4年度雨竜町一般会計補正予算(第1号) (5,145万5千円を追加し、総額40億721万円とする)	原 案 可 決
議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例の制定について (議会議員の期末手当の支給月数を改正するもの)	原 案 可 決
特別職給料額等支給条例の一部を改正する条例の制定について (特別職の期末手当の支給月数を改正するもの)	原 案 可 決
雨竜町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について (国家公務員の給与改定に伴い、本条例を改正するもの)	原 案 可 決
雨竜町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について (会計年度任用職員の期末手当の支給月数を改正するもの)	原 案 可 決
雨竜町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について (地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴い、本条例の一部を改正するもの)	原 案 可 決

## 一般会計補正予算

### ◇令和3年度一般会計補正予算（第12号）

これまでの予算に2,460万6千円を追加し、総額43億7,181万円とする。

（歳出の主な内容）

総務費	財政調整基金積立金	33,154,000円
民生費	住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金	△ 8,400,000円

### ◇令和4年度一般会計補正予算（第1号）

これまでの予算に5,145万5千円を追加し、総額40億721万円とする。

（歳出の主な内容）

総務費	町有財産解体工事費	1,760,000円
衛生費	ワクチン接種委託料	3,074,000円
衛生費	ワクチン接種券印刷業務委託料	1,000,000円
衛生費	国費過年度分精算還付金	3,230,000円
商工費	うりゅう商品券全戸配布事業取扱委託料	22,978,000円
商工費	商工業者緊急対策給付金	17,500,000円

## 令和4年度一般会計補正予算（第1号）商工費への質疑応答

### 質問1

#### Q.（吉見議員）

今回、商工業者緊急対策給付金事業として、コロナ禍や物価上昇の中、商工業者も大変な時なので良い事業だと思うが、商工会には農業法人も含まれているが、今回のこの事業は商工業者だけなのか。また、農業法人でサービス業を行っている会社もある。その様な農業法人は事業対象としては対象になるのか。

#### A.（産業建設課長）

商工業者への緊急対策給付金事業ということで、農業法人を除く町内事業者を対象に支援していきたいということで考えている。

### 質問2

#### Q.（吉見議員）

商工業者緊急対策給付金事業の車両加算について、法人は法人登記されている車両ですぐわかるが、個人事業主については、自家用車を使われている場合もあるが、事業所で使用している車両の考え方はどのように考えているのか。

#### A.（産業建設課長）

基本的には事業で利用している車両ということで、通勤車両は除くことで考えている。申請についてはその事業に使われている車両のナンバープレートと車種等を記入して申告してもらい、商工会等に確認していただく考えでいる。

# 令和4年 第2回定例会

(開催日程：令和4年6月21日)

## 審 議 結 果

議 件 名	結 果
令和4年度雨竜町一般会計補正予算(第2号) (1,640万7千円を追加、総額40億2,361万7千円とする)	原 案 可 決
雨竜町国民健康保険税条例等の一部を改正する条例の制定について (地方税法施行令等の一部を改正する政令の施行に伴い、本条例の一部を改正するもの)	原 案 可 決
雨竜町道路線の認定について 路線番号 130 路線名 南23号線 起点 雨竜町字満寿33番地224地先 終点 雨竜町字満寿33番地222地先	認 定 可 決
雨竜町過疎地域持続的発展市町村計画の一部変更について (雨竜町過疎地域持続的発展市町村計画の事業内容の一部を変更するもの)	原 案 可 決
北海道市町村職員退職手当組規約の変更について (新たに加入する団体の発生に伴い、規約別表の変更について協議するため、本案を提出するもの)	原 案 可 決
北海道町村議会議員公務災害補償等組規約の変更について (新たに加入する団体の発生に伴い、規約別表第1の変更について協議するため、本案を提出するもの)	原 案 可 決
北海道市町村総合事務組規約の変更について (新たに加入する団体の発生に伴い、規約別表第1及び別表第2の変更について協議するため、本案を提出するもの)	原 案 可 決
雨竜町公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて (雨竜町字満寿32番地330 若山 優司 氏)	同 意 可 決
令和3年度雨竜町一般会計繰越明許費に係る歳出予算の繰越した経費の報告について	報 告 済
雨竜町土地開発公社の業務報告について	報 告 済
株式会社雨竜町振興公社の業務報告について	報 告 済

### 一 般 会 計 補 正 予 算

◇令和4年度一般会計補正予算(第2号) これまでの予算に1,640万7千円を追加、総額40億2,361万7千円とする。 (歳出の主な内容)		
民 生 費	住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金	3,500,000円
民 生 費	保育園指定管理費	1,434,000円
農林水産業費	農地整備事業負担金	1,551,000円
農林水産業費	林道等維持補修工事費	2,782,000円
土 木 費	わかば団地建替事業費(建設工事)	3,130,000円

## 意見書

第2回定例会で議員から提案された次の意見書について審議の結果、原案のとおり可決され、関係行政庁に提出しました。

### ○森林・林業・木材産業によるグリーン成長に向けた施策の充実・強化を求める意見書

(要旨) 本道の森林を将来の世代に引き継いでいくため、活力ある森林づくりや防災・減災対策をさらに進め、森林・林業・木材産業によるグリーン成長が実現できるよう、施策の充実・強化を図ることを強く要望する。

【提出先：内閣総理大臣・衆議院議長・参議院議長・総務大臣・財務大臣・文部科学大臣・農林水産大臣・経済産業大臣・国土交通大臣・環境大臣・復興大臣】

### ○子どもたちへのより良い学習環境作りと働く教職員の労働環境改善を求める意見書

(要旨) 教職員の無制限・無定量の超過勤務を容認する「給特法・条例」を廃止するなどの法整備の見直しとともに、基礎定数法の改善や少人数学級の早期実現、全教職員による協力・協働体制による「学校づくり」を具現化することを要望する。

【提出先：内閣総理大臣・衆議院議長・参議院議長・総務大臣・財務大臣・文部科学大臣・内閣府特命担当大臣（地方創生担当）】

### ○地方財政の充実・強化に関する意見書

(要旨) 地方公共団体には多岐に渡る役割が求められている一方、地域公共サービスを担う人材が不足している。次年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、コロナ禍への対応も勘案しながら、歳入・歳出を的確に見積り、地方財政の確立を目指すよう求める。

【提出先：内閣総理大臣・衆議院議長・参議院議長・総務大臣・財務大臣・厚生労働大臣・内閣府特命担当大臣（地方創生担当）・内閣府特命担当大臣（経済財政政策担当）】

### ○食料安全保障の強化を図る新たな国の予算確保と国民への理解醸成を図る意見書

(要旨) 食料自給率向上を図る国内生産の基盤強化をはじめとする新たな施策と予算の確保が不可欠である。よって、食料の安定供給と農業の持続的発展のため、我が国の食料安全保障の強化と国民への理解醸成が図られるよう要望する。

【提出先：内閣総理大臣・財務大臣・農林水産大臣】

## 決議文

### ロシア連邦によるウクライナ軍事侵攻に断固抗議する決議

去る2月24日にロシア連邦はウクライナへの軍事侵攻を開始した。

その結果、民間人を含む多数の犠牲者を出すなど、多くのウクライナの人々が生命への危険と避難生活を余儀なくされている現状は、残虐行為であり、決して人道的に許されるものではない。

ロシア連邦によるウクライナへの軍事侵攻は許し難い蛮行であり、武力の行使を禁ずる国際法の深刻な違反である。特に、核による威嚇を繰り返すことは、国際秩序の根幹を揺るがし、世界の平和と安全を大きく損なうものであり、断固容認することはできない。

よって、雨竜町議会は、ロシア連邦のウクライナ軍事侵攻により、ウクライナの主権や国民の命が脅かされる事態を憂慮するものであり、ロシア連邦は即時に完全かつ無条件で撤退し、常任理事国としての責務を全うし、国際法に基づく平和的な手段による早期解決を求めるとともに、一日も早くウクライナに平和な暮らしが取り戻されることを強く求める。

北海道雨竜町議会

# 行政常任委員会報告

令和4年第2回定例会までの閉会中に行った所管事務調査の結果内容を報告いたします。

期 日：令和4年6月3日（金）・6日（月）

## <調査事項>

スマート農業への取り組みについて

## <調査結果>

本町においては、国営事業ならびに道営事業による農業基盤整備事業が進められ、大規模圃場によるスマート農業に対応した基盤整備が進められているところである。

また、ホクレンによるRTK基地局の設置により、生産者も利用しやすい環境が整い、より高精度な農業ができる環境整備が進められている。

農業機械においては、日々進化しており無人トラクターや無人田植え機、ドローンによる自動航行散布、また圃場の自動給水設備等省力化が進められ、近郊の町を含め町内においても導入が始まっているところではあるが、導入する際のコストが高額なのが現状である。

しかし、今後においては圃場データの活用により、各種農業機械と連動することによる、生産コスト削減や農地情報・生産情報の構築による更なる経営全体の改善に効果も期待されることから、必要な取り組みと考えられる。

スマート農業については、生産機材への国や道の各種助成事業等があるが、現状では事業活用のハードルは高く、また今後の農業情勢の変化では農業者の取り組みの鈍化も考えられるため、本町としても推進していくには具体的な対応策を講じていかなければならないと考える。

今後、農業の担い手が希望と安心を持てる農業経営とするため、本町としてもスマート農業を推進していかなければならないので、関係者が一体となり必要な取り組みに着手し、具体的な検討と対策、そして将来に向けた可能性の検証と時代の動きを敏感に読み取り、スピード感をもって取り進められたい。



ヤンマーによるロボットトラクター実演



ドローンの機能説明



## <現地調査>

国営緊急農地再編整備事業の逆川の埋立て状況について視察を行いました。

# 令和4年第2回定例会一般質問

6月21日に3人の議員が町政執行に対し、

3項目の一般質問をしました。

「フレイル予防で

健康なまちづくり」



吉見議員

質問

子どもから高齢者までの全年齢層で新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、町民の皆様の外出も控え、人との交流や体を動かす機会が激減したここ数年、人流は少しずつ回復しつつあるものの、高齢者の皆様にとって特に動かない状態が続くことは心身の機能が低下し、動けなくなるのが心配されます。転倒などを予防するためにも日頃から運動することはとても大切なことでもあります。

フレイルとは、加齢や疾患によって身体的、精神的、様々な機能

が徐々に衰え、心身のストレスにも発展してしまうことです。このフレイルの原因として、もろくなる領域別に身体、心や認知、社会性の3つに分けられると聞きます。フレイル状態に至ると、適切な対応をしなければ介護が必要な状態になり心身の機能が低下していくこととなります。その予防として、年齢を重ねたら心身の機能が低下しないよう日頃の食事や運動などの生活習慣に注意し、積極的に人と接するなど社会性を失わないよう注意する必要があると言われています。

本町の保健活動においては、町民に向けて日頃より栄養指導、機能回復訓練等は実施されております。また、福祉活動として社会福祉協議会の活動やおいでサロンの開設などを並行して社会参加の機会も実施され、予防対策の一端を担っているものと考えます。しかしながら、フレイルは健康な状態と介護が必要な状態の間地点にあることから、身体的、精神的に

明らかな異常は見られないことがほとんどです。ペットボトルの蓋が開けにくくなってきた、急に痩せてきたなど年齢のせいと思われる症状が多く、介護と違い分かりにくい症状です。

フレイルにおける最も注意すべき症状は転倒、骨折です。そのほかには排尿障害、視力低下、活力低下、息切れ、物忘れなどが挙げられています。これらを見逃しているときらなる心身機能の低下が生じ、風邪をこじらせやすくなり、肺炎を発症したり転倒しやすくなると骨折したりする可能性が高くなり、最終的には介護が必要な状態に陥る危険性が増すと言われています。新型コロナウイルス感染症が少し落ちてきた中ではあります。まだまだ先の見えない自粛生活、フレイルの進行を予防するために高齢者の健康管理の一貫としてフレイルに対する検査や診断をどのように進める予定などがあるのか町長の考えを伺います。

町長

フレイルの予防についての質問であります。フレイルという言葉はあまり聞き慣れないと思えますけれども、日本で使われ始めて

5年以上になると聞いております。これは新たにできた言葉ではなく、それまで日本では虚弱という言葉に訳されて使われてきたものと聞いております。フレイルは、健康な時期から介護を要する状態の前までの間、身体、精神、人との交流といった社会的側面の3つが徐々に衰えていく状態のことを指し、虚弱と訳せば加齢に伴う筋肉や身体的活動性の減少のみがイメージされやすいため、近年では訳さずにフレイルという言葉が多く使われ始めています。

このフレイル予防は、広く介護予防ということで、町や社会福祉協議会、そして町民ボランティア団体が一体となって取組を進めているところですが、議員のおっしゃるとおり健康な状態は徐々に低下していくということで、働き盛りの年齢から衰えは始まっておりますが、予防という観点からは年齢を問わず、より早い時期からの意識づけと取組が必要と考えてございます。

また、長いコロナ禍により町民の生活状態にも少なからず影響があり、身体的ストレスに加え心や生活、活動量も変化していることから、町では可能な限り継続して

保健事業、介護予防事業の開催について対策を講じていかなければならないと考えております。参加機会の確保も図ってきています。ところで、今後につきましては、町民に今まで以上に健康意識を高めてもらうためにも関係事業を引き続き推進していきたいと考えてございます。

なお、個別の事業実施方法につきましては担当課で検討を進めていくところで、フレイルに対する検査、診断につきましては先進自治体では教育機関と連携し取り組んでいるというところもあります。が、まずは町民の健康意識の醸成が必要であると考えております。健康教育活動の中でセルフチェックなどができないか、十分検討していくよう考えておりますので、ご理解願いたいところでございます。

## 再質問

町としての各種高齢者に対する事業や健診等を進めていることは理解していますが、コロナ禍において外出することがおっくうになり、引きこもりがちになることによる社会性が低下を招きます。また、フレイルの発生は加齢とともに徐々に増加していく傾向では

ありますが、高齢者だけではなく現役世代の方にも症状が出てくるようです。その中でも男性のほうの方が女性よりも多く見られる傾向にあります。フレイルの症状は、社会とのつながりを失うことが最初の入り口となり、生活範囲や心の健康、また口腔機能や身体機能までも低下し、ドミノ倒しのように症状が進み、重症化していきます、最終的には介護へと進行していくとされています。症状はなかなか自分自身では分かりにくいため、先ほどの答弁の中にもありましたが、セルフチェックや症状の簡易的な診断方法もあるようなので、各種健診や各事業への参加の呼びかけと連動した形で広報紙なども利用しながらフレイル予防の考え方を町民の皆様にも知らせていくことが必要と考えますが、再度町長の考えを伺います。

## 町長

コロナ禍における外出自粛での影響への指摘がございましたが、生活変化は老若男女問わず身体にも心にも少なからず影響があったものと考えており、その変化した日常が慢性化することなく以前のような社会を取り戻すことが必要であると考えます。フレイル、す

くお願いします。

## 再々質問

今の町長の答弁の中でありました広報紙等による活用については、フレイル予防の周知については進めていただきたいと思います。

このフレイルの状態は、高齢者だけではなく40代の方からの発症現在本町で行われている各種保健福祉事業や健診だけではなく、町民への周知や先進的に取り組んでいる自治体の事例等も参考にしながら早期の対応を検討され、先ほど町長も言われていました。ごどもからお年寄りまでが笑顔あふれるまちづくり、そして健康な町雨竜町を築き上げていただきたいと思います。考え、質問を終わります。

## 町長

いろいろな事業をやっておりますけれども、知らなかったとか、そういったこともありますので、先ほど言った広報もですが、いろいろな方法で職員一丸となって周知をし、何とか皆さん方に事業へ参加いただき健康保持をしていただくということにさらに努めていきたいと思っておりますので、よろしくご理解をお願いします。



## 「田中学園との連携事業と 今後における町の取組について」



野村議員

### 質 問

本年4月に札幌市に北海道では4校目の私立小学校として開校した田中学園立命館慶祥小学校ですが、田中学園と雨竜町との間で昨春秋に包括連携協定を締結し、本年4月から様々な学習に関する連携事業が行われていると思います。現在雨竜小学校ではどのような連携事業が実施され、今後どのようなものが予定されているのかを伺います。

また、田中学園は外国語教育、特に英語教育に力を入れている学校とお聞きしています。田中学園ではどのような形で小学生に特徴的で独自の英語教育を進めているのか、さらに今回の包括連携協定締結において雨竜小学校児童に対する英語教育の内容や指導体制についてお伺いさせていただきます。

### 教育課長

昨年9月に雨竜町は学校法人田中学園立命館慶祥小学校と7項目の包括連携協定を締結し、昨春秋からの試行連携期間を経て、本年4月より本格的に連携事業を開始しております。最初に、現在の連携事業の実施状況ですが、学習活動では田中学園より派遣教員1名の雨竜小学校への受入れ、さらには田中学園の授業で使用されている英語教材の雨竜小学校授業での活用を行っています。この英語教材は、田中学園が自校児童のために独自で作成した教材ですが、特別に提供していただいているものです。交流活動においては、初めての交流事業でした立命館慶祥小学校3年生の校外学習受入れにおける田植体験学習と雨竜小児童との交流会は先週6月16日に行われ、成功裏に終了しております。また、立命館慶祥小学校3年生の宿泊研修での町内施設利用と雨竜小児童との交流を来月7月14日から2日間予定をされております。

なお、今後のさらなる事業実施についてですが、年度内に実施を検討している事業案がいくつかあると聞いております。今後双方で詳細を詰めていきたい考えです。次に、田中学園での英語教育に

ついてです。田中学園の教育プログラムでは、世界に挑戦する12歳をテーマに独自の教育課程を取り進めております。特色的な取組として、英語イマージョン教育の教育手法により英語教育を積極的に進めています。小学1年生から英語を必修科目にするとともに、体育や音楽などの授業においてもできるだけ英語を使って学ぶイマージョン教育により、日常的に多くの英単語に触れることで自然に英語が身につく確率が高い学習方法が導入されています。

最後に、雨竜小学校における英語教育の内容と体制ですが、雨竜町では田中学園からオリジナル教材と学習指導マニュアルの提供を受け、英語イマージョン教育を各学年において取り入れる予定です。イマージョン教育を取り入れるための大型モニター等の設備も整備済みで、試行的な学習も既に行っている状況であり、6月下旬からの本格的な取組を予定しております。また、田中学園からの派遣教員が小学3、4年生の外国語活動の授業を1年間通して専科担任として指導することになっており、この4月から指導が開始され、雨竜小児童も田中学園からの派遣教員と授業の中で積極的に英語を使

ってコミュニケーションを取っているところですが。

### 再質問

田中学園では、小学校6年卒業時までに英語の学習成果を確認することを目的に、英語検定試験の受験を積極的に推奨する予定と聞いております。英語教育に力を入れている田中学園から教員の派遣や教材の提供を受けて英語の学習を進めていく雨竜町では、教育、特に英語分野に関する学習をどのような考えの下で推進していくのか、今後における教育方針等についてお伺いいたします。

### 教育長

令和2年度に学習指導要領の改訂により小学校5、6年生に外国語が教科として加わり、また3、4年生においては外国語活動として授業に取り入れることになりました。そのことから、これまで以上に外国語の重要性を意識した学習内容を授業に取り入れる必要が生じております。雨竜町では、中学校進学時に学習する英語教科との接続性を考慮した結果、小学校から学ぶべき外国語として英語を選択した経過があります。今回の包括連携協定締結により英語イマ

ージョン教育に関する教材が田中  
学園から提供され、既に雨竜小学  
校において活用されております。  
その教材は田中学園から派遣され  
ている教員がメインとなり、現在  
指導に当たっているとあります。

小学校低学年から外国語を学ぶ  
ことが学習指導要領に明記された  
ことで、道内公立小学校において  
は試行錯誤の中でそれぞれの学校  
が工夫を凝らした外国語の学習活  
動に取り組んでいると聞いており  
ます。そのような中で、雨竜町で  
は田中学園と包括連携協定を締結  
しているメリットを生かし、特色  
ある指導により小学生の段階から  
英語に積極的に触れてもらい、国  
際的感覚を早い段階から身につけ  
させたいと考えております。小学  
校から英語を学ぶ機会が増えるこ  
とにより、学習成果の確認と個々  
の学習意欲の向上を目指すため、  
中学校進学後に公益財団法人日本  
英語検定協会が行う試験、いわゆ  
る英検の受験を積極的に推奨する  
と同時に、個々のレベルに合った  
英検における検定級の取得を学習  
目標として取り組むことも学校と  
も協議の上で今後検討してまい  
りたいと考えております。

田中学園との包括連携協定を締  
結したことにより、立命館慶祥小

学校在籍児童はもとより雨竜小学  
校在籍児童にも多くのメリットが  
享受できるものと考えております。  
学習に関することはもちろんです  
が、双方の児童が今後交流する事  
業も幾つか予定されており、都市  
部在住児童と地方在住児童との貴  
重な交流の機会と考えております。  
固定化された人間関係になりがち  
な地方の子どもたちにとっては人  
的交流の幅が広がり、子どもたち  
の成長過程の一助としての魅力は  
非常に大きいものと捉えておりま  
す。相互交流を行うことで児童は  
もちろん、その保護者や学校関係  
者に雨竜という町をより多く知っ  
てもらい認知度を高め、魅力を伝  
えることで末永く町の応援者にな  
ってほしいとも考えておりま  
す。

#### ※イマージョン教育

未修得言語の学習方法の一つであ  
り、英語環境で他教科の授業をす  
ることにより英語で過ごす時間を  
作り、修得を目指すもの。

## 「SDGs

### 持続可能な開発目標について」



佐々木議員

#### 質 問

持続可能な開発目標、SDGs  
は、2030年までに取り組むべ  
き国際目標です。持続可能な世界  
を実現するため、貧困をなくす、  
住み続けられるまちづくりを、全  
ての人に健康と福祉をなど17のゴ  
ール、169のターゲットから構  
成され、地球上の誰一人として取  
り残さないため、多様性と包摂性  
のある社会の実現に向けた取組が  
日本の各地で広がっています。S  
DGsの取組は難しい、個人的に  
は関係がないと思われるかもしれ  
ませんが、私たちの身近なところ  
にSDGsがあります。分かりや  
すく町民に取り組んでもらうため  
、身近なところからできることを推  
奨したり、政策などにも取組を明  
記したり、周知してもらうことが  
重要であると考えます。世界共通  
の目標であるSDGsを参考にす

ることにより地域の現状を客観的  
に把握することができ、長所や短  
所、新たな課題などが見えてきて  
現状の分析が可能となります。取  
り組んでいる姿勢を見せることは  
とても大事で、雨竜町としても2  
030年の目標に向けてSDGs  
への取組を推進する考えがあるの  
か町長に伺います。

#### 町 長

SDGsは、国連サミットで1  
93の国が全会一致で採択された  
持続可能な開発のための2030  
アジェンダ、こちらが掲げられま  
した。内容につきましては、貧困  
や飢餓から環境問題、経済成長や  
ジェンダーまで幅広い様々な課題  
が網羅されてございます。豊かさ  
を追求しながらも地球環境を守り、  
誰一人取り残されないということ  
を強調し、2016年から203  
0年までの15年間に達成すること  
を目標としているところござい  
ます。

この中で日本政府が発表してい  
るSDGsアクションプラン20  
22では、全ての人が生きがい  
を感じられる新しい社会へ、こちら  
を目標とし、あらゆる人々が活躍  
する社会、ジェンダー平等の実現、  
健康、長寿の達成、持続可能で強

靱な国土と質の高いインフラの整備、省エネ、再生可能エネルギー、防災、気候変動対策、循環型社会、生物多様性、森林、海洋等の環境保全など8分野に特に力を注いでいくことが明記されております。また、教育面ではSDGsの達成を担う人材育成が取り上げられ、ESD教育、これは持続可能な開発のための教育ですが、このことを推進するため、小学校では2020年度、中学校では2021年度に学習指導要領の改訂もされているとございます。

ただいま議員から雨竜町としてSDGsに取り組んでいる姿勢を見せてはどうかというご質問でございましたが、例えば外務省が提唱している海洋汚染を防ぐためのごみの減量や分別回収、プラスチック製品の減少やエコバッグの普及、そのほかに森林保全、次代を担う子どもたちや持続可能な農業を支えるための基盤整備と担い手の支援など、既に雨竜町や各事業者においてもSDGsの関連する取組を幅広く実践されているところであり、政府の発表では各事業者のSDGsに対する認知度も全国的に85%に達しているということが示されてございます。長く継続させるためには行政や事

業所、さらには個人ができることそれぞれで目標を定め、持続可能で無理せず続けられるサステイナブルな取組が必要と判断しております。このことから、SDGsについては町として推進するのではなく、様々な立場や関連分野で相互に連携し、目標達成に向けて取り組まれることを望むところであると考えております。

### 再質問

SDGsの17の目標の中には本町も既に取り組む計画を持つているものもあります。ゴール11の住み続けられるまちづくりをという項目には、脆弱な立場にある人の交通輸送システムの提供や包摂的な緑地や公共スペースの普遍的アクセス提供など、自治体行政の参画抜きにしてゴール11の達成は不可能と言えます。誰一人取り残さない社会を目指し、経済、社会、環境をめぐる広範囲な課題に町民と共に取り組んでいく必要があると考えます。家庭でも節電や節水、フードロスを減らすこと、リサイクルを積極的に行うこと、公共交通機関を使うこと、家事を平等に分担すること、災害に備えることなど身近な取組として持続可能なSDGsがありますし、本町とし

ても推奨していき、町民との共通認識として町の活性化を目標に取り組んでいく必要があると考えます。こどもからお年寄りまで笑顔があふれ、未来に希望の持てるまちづくりを目指すには必要なことと考えますが、再度町長の考えを伺います。

### 町長

SDGsの本質といたしましては、17の目標相互に連携しており、それを包括的に解決することが本町の意味での解決に向かうとされており、行政や事業者に至りましては、これまで実施してきました環境に対する取組や各種事業活動の中で様々な考えの下実施してきたことがそのままSDGsの取組につながるということが多々あると考えております。また、持続可能な事業活動という視点で見直してみることでその関係性を把握できることもあります。このことから、行政ができること、事業者や個人が取り組むことのできることで、さらには官民一体となって協力し、取り組むことのできる目標への理解を求めていかなければならないと考えております。全ての人々が安心して日常生活を送ることができ、環境問題や差別のない

持続可能で豊かな活力ある未来に住み続けることのできるまちづくりを目指し、町としてもSDGsの関連する分野の達成に向けてできることを取り組んでまいりたいと考えてございます。

なお、今環境省のほうで各自治体にゼロカーボンの計画を立てるということが、いつというのはまだ来ていませんが、そのような計画、どこの自治体も取り組まなければならぬことになっておりますので、そういったことが明らかになれば当然雨竜町がどういったことをやっていくということを明記して、それに沿って行政を進めていくこととなりますので、またその計画が明らかになったときには議員の皆さんにもお知らせしてご理解いただき、また計画がどのようなものかというのにも協賛して進めていきたいと思っております。よろしくご理解をお願いします。

6月21日開催 第2回定例会に・・・

## 中学3年生が傍聴に来てくれました！

第2回定例会を雨竜中学校3年生の生徒の皆さんが、社会科の授業の一環として傍聴されました。

皆さんの感想を寄せていただきましたのでご紹介します。



●SDGs やスマート農業などの先進的な取り組みについても話し合われていて、よりよいまちを作るために頑張っていることが分かった。

●議会をどのように行っているか知ることができて良い経験になった。秋に行う子ども議会では良い意見を出せるよう頑張りたいと思います。

●町民に関する話は出ると思ったが、SDGs など世界に関する話はないと思っていたので意外だった。日々、町が良くなるようにしてくれている議会の皆様は、本当にすごいと思った。

●全然、想像していたのとは違った。一般質問で町のために質問やその対策等を行っているのだなと思った。自分には分からないことがいっぱいあった。

●緊迫した中で、話を聞いているだけで緊張しました。でも議会は初めて聞いたので「こんな感じなんだなあ」と思いました。

●答弁のしかたが生徒総会と似ていた。専門用語がたまに使われていて難しかった。アドリブで話しているのかと思っていた。今日の傍聴を秋の子ども議会に活かしたい。

●議員から議長が出ることに驚いた。秋に向けて具体的でシンプルな提案をしたい。

●現在の雨竜の状態を知ることができたので良かった。特に、町議の意見や質問を聴くことができ、フレイルやSDGsなどの難しい言葉も理解することができたので、とても良い勉強になった。高齢者の視点で聞くことができたので良かった。



また、今年度は中学3年生による「子ども議会」の開催を計画されているとのこと。皆さんから様々な意見が出されることを楽しみにしています。

# 議員研修会

## ○北海道町村議会議員研修会

7月6日（水）、札幌コンベンションセンターにおいて、北海道町村議会議長会主催による議員研修会が開催され、全議員が出席し、講演を聴講しました。

- ・講演 「参院選最終情勢分析と選挙後の政局展望」

政治ジャーナリスト 泉 宏 氏



## ○中空知ふるさと市町村圏議員交流会

7月14日（木）、秩父別町ファミリースポーツセンターにおいて、空知町村議会議長会主催による議員研修会が開催され、全議員が出席し、講演を聴講しました。

- ・講演 「まちが素敵になるしかけ」

株式会社 北海道二十一世紀総合研究所

調査部・特任審議役 木本 晃 氏



## 議会の傍聴お待ちしております！

定例会は年4回、臨時会については必要に応じて開かれます。

次回の定例会は9月に開催を予定しています。

事前の申し込みは不要です。ぜひお気軽にお越しください。

令和4年6月14日に札幌市で開催された、北海道町村議会議長会第73回定期総会において、空知議長会を代表し、竹ヶ原議長が提起し、決議されました。

## 地域に活力をもたらす安定した農業の推進について

提出者：空知議長会（雨竜町議会）

北海道の農業は、地域経済を維持していくうえで欠かすことのできない産業である。この広大で肥沃な大地を生かし、各地域の実情に即して、安心・安全そして安定した農産物の生産と供給に努めている。

一方で、離農や高齢化による担い手不足などさまざまな農業課題を抱え続けている。

貿易の自由化による海外との競争力低下、コロナ禍による外食産業などの消費減少、農業政策への不安、気候変動問題、消費者ニーズの多様化など、北海道の農業は時代とともに大きな変化の中にいつもある。

加えて、理解しがたい現下の東西対立による不安定な国際情勢が、物資の不足や食糧危機を招くなど我が国の農業にとってますます先行き不透明な状況をもたらしている。

これまでも地域農業は努力を重ね、豊かな水資源と広大な農地を活用し、稲作を主体に地域の特色を活かしながら、小麦・大豆など土地利用型の畑作や野菜・花きなどの園芸を取り入れた多様な水田農業を展開してきた。

昨年11月に示された「水田活用の直接支払交付金」の見直しは、道内の農村地域に甚大な影響を及ぼすばかりではなく、大きな混乱が生じている。

しかし、農作物の安定供給、食料自給率・自給力の向上、農業技術の継承、多面的機能の維持強化等を図るためには、我が国の農業を特徴づける生産基盤である水田を最大限に有効活用することが重要であると考えます。

これからも地域に活力をもたらす農業の維持・推進のため、次の対策を強く要望する。



### 記

1. 国内の食料事情の安定化を図るため、食料自給率の向上に必要とする政策支援の推進と、各地域の実情に即した多様な経営基盤の安定を図るため必要とする対策関連予算の措置を講じること
2. 生産現場の意見を反映し、「水田活用の直接支払交付金」の混乱の早期解決と、農村の活性化と持続的な発展に向け、今後も必要な予算の確保と恒久的な運用が出来る対策の支援を図ること
3. 新型コロナウイルス感染症による、インバウンド需要の低迷や中食・外食産業の大幅な消費減少などに対する地域経済の活性化対策関連予算の措置を講じること
4. 過疎化の進み方が早い農村地域に対し、世代を超えて地域を誇ることのできる農村の歴史や生活文化・景観などにスポットを当て、地域づくりのキッカケとなる取り組みを図りながら、農村集落の維持・活性化へと導き出す取り組みに対する支援を行うこと

5. スマート農業の活用は、国際目標であるSDGsで提唱する環境と調和した持続可能な農業の推進を図り、また加速化するカーボンニュートラルの実現にも不可欠なものであり、農業分野におけるICT等の先進技術活用に対する対策の支援を行うこと。

## 北海道町村議会議長会表彰伝達式

令和4年6月14日に北海道町村議会議長会より、長年にわたり地方自治の振興発展に尽くされた功績が讃えられ、竹ヶ原議長が表彰されました。

この表彰は、町議会議員として15年以上在職されたことによる表彰であり、竹ヶ原議長は平成19年4月から現在にわたり町議会議員として活動されています。

6月21日開催の第2回定例会時に須見副議長から表彰状の伝達が行われました。



## 請願（陳情）書の提出の仕方

### 請願（陳情）書とは…？

政治や行政に関して希望や要望を述べることです。

### 請願（陳情）書の提出の仕方

- ① 請願書を提出される方は、請願の趣旨、提出年月日、請願者の住所及び氏名（法人の場合はその名称及び代表者の氏名）を記載のうえ押印し右記の様式により提出願います。
- ② 請願書には、町議会議員の中から3名以内の紹介議員が必要です。紹介議員として署名・押印を受けて下さい。  
※陳情書には紹介議員は必要ありません。

以上の条件により提出された請願（陳情）書により議会において審議されます。  
不明な点については、議会事務局にお問い合わせ下さい。

（様式1） 令和 年 月 日

○○○○○○○○請願書

住所

請願団体

代表者

印

紹介議員

印

紹介議員

印

雨竜町議会議長 ○○○○ 様

（様式2）

請願趣旨

（請願の趣旨を記載して下さい。）

※陳情書の場合は「請願」を「陳情」に読みかえて下さい。

## おもな議会のうごき (5月～7月)

### 5月

- 9日 中空知議会議長連絡協議会第1回定期総会 議長  
 16日 交通安全推進委員会理事会・総会 議長  
 雨竜町商工会定期総会 議長  
 27日 議会運営委員会・第2回臨時会  
 30～31日 全国町村議会議長・副議長研修会(東京都) 副議長

### 6月

- 3・6日 行政常任委員会  
 7日 雨竜町観光協会総会 議長他  
 9日 議会運営委員会  
 14日 北海道町村議会議長会定期総会及び研修会(札幌市) 議長  
 14～15日 雨竜町中央要望実行運動(東京都) 議長  
 16日 戦没者追悼式 議長  
 19日 陸上自衛隊旭川駐屯地創立記念式典(旭川市) 議長

### 21日 第2回定例会

- 24日 雨竜沼湿原・南暑寒岳登山安全祈願祭 議長

### 7月

- 1日 町営プール安全祈願祭 議長  
 国営緊急農地再編整備事業雨竜暑寒地区促進期成会総会 議長他  
 6日 北海道町村議会議長会主催議員研修会(札幌市) 全議員  
 8日 雨竜消防演習 議長他  
**議会広報特別委員会**  
 14日 空知町村議会議長会議員研修会(秩父別町) 全議員  
 北竜町議会議員親睦交流会 全議員  
 20日 **議会広報特別委員会**  
 26～28日 空知町村議会議長会中央要望実行運動(東京都) 議長

## 編集後記

新型コロナウイルス感染症も少し落ち着き、感染症対策を行いながら今までの日常が戻りつつあったところですが、国内では第7波ともいわれる拡大が広がりつつあります。町内における4回目のワクチン接種については、8月下旬から順次始まりますので接種対象者の方は感染予防のためにも、接種していただきたいと思います。

さて、6月の定例会では、雨竜中学校3年生が社会の授業の一環で、議会の傍聴に来てくれました。中学生の傍聴は私たちにも良い刺激になりました。また、中学生議会の開催に向け、議場の様子や議会の雰囲気なども感じていただけたと思います。中学生の質問を議員一同楽しみにしています。

今年の夏も暑くなりますが、町民の皆様におかれましても暑さ対策・感染症対策を行いながら体調管理に気をつけてお過ごしください。

(吉見 拓也 記)

## 今年も雨竜沼湿原へ!



議員有志をはじめ、町職員と地域おこし協力隊の総勢16名で雨竜沼湿原へ行ってきました。昨年は見られなかった、辺り一面に咲くエゾカンゾウには思わず目を奪われました。次はどんな景色が見られるか楽しみです。

(佐々木 徹 記)

### 議会広報特別委員会

委員長 木村 啓治  
 副委員長 佐々木 徹  
 委員 吉見 拓也